

これまでに東邦大学大森病院で、PET/CT 検査後に  
大腸がんの手術を受けた患者さんへ  
【過去の検体、診療情報の調査研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属順天堂医院腫瘍内科では「 $^{18}\text{F}$ FDG-PET/CT を用いた切除可能な原発性大腸がんの予後予測における腫瘍体積ボリューム (Metabolic Tumor Volume, MTV) と総腫瘍代謝量 (Total Lesion Glycolysis, TLG) の最適な閾値の検討」という研究を行っております。この研究は、大腸がんの患者を対象にした研究を施行して、従来の SUV max/peak と MTV/TLG 値のそれぞれで、適切なパラメーターの閾値を設定した上で、どちらがより予後因子として有用であるか検討していく事を主な目的としています。そのため、過去に東邦大学大森病院で、FDG/PET-CT 検査後に大腸がんの手術を受けた患者さんの検体、カルテ等の治療データを使用させていただきます。

○この研究の対象となる患者さんは、大腸がん患者の方で、西暦 2015 年 2 月 1 日から西暦 2019 年 4 月 1 日の間に東邦大学大森病院で PET/CT 検査を受けた方です。

・利用させていただくカルテ情報は下記です。

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果 (血液検査、FDG/PET-CT を含めた画像検査)

○この研究は順天堂大学医学部研究等倫理委員会の承認を受けて行われます。

・研究実施期間 倫理委員会承認日 ~ 西暦 2024 年 7 月 31 日まで

・研究責任者 城戸 秀倫

○過去の検体、データを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。

○調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

○この研究は、腫瘍内科の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」第12の1(2)アの(ウ)の規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント(説明と同意)を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

順天堂大学医学部附属順天堂医院 腫瘍内科  
電話：03-3813-3111 (内線) 3865  
研究担当者：城戸 秀倫

東邦大学医療センター大森病院 総合診療・急病内科  
職位・氏名 助教 佐々木 陽典  
電話 03-3762-4151 内線 6510